

写真展  
「蒜山近傍の花たち」より

河津 哲



# もくじ

アケボノソウ	5
ウリノキ	6
カタクリ	7
カリガネソウ	8
ユウスゲ（キスゲ）	9
サギソウ	10
ザゼンソウ	11
サンカヨウ	12
ダイセンスミレ	13
トキソウ	14
ナベナ	15
ヒトリシズカ	16
アカモノ	17
アマドコロ	18
イワカガミ	19
エンレイソウ	20
オタカラコウ	21
オミナエシ	22
キクザキイチゲ	23
キツネノカミソリ	24
キバナアキギリ	25
コバギボウシ	26
コオニユリ	27
シシウド	28
セリバオウレン	29
ミツバアケビ	30
オカトラノオ	31



# アケボノソウ



高知でこの花を初めて見たのは横倉山でした。三嶺でも見ましたが、何れも薄暗い木立の下でした。直射日光が当る蒜山の湿原でこの花を見たときに、思い込みの植生環境を見事に打ち砕かれました。水気があれば何処でも生きて行ける植物だと。蜜を吸いに多くの昆虫が来ます。花と同じぐらい大きなカナブンの写真よりアリさんが集っている写真を選びました。

# ウリノキ



横倉山の石灰岩帯では花が咲く事が少なく、蛇紋岩帯が合っている日陰の植物と思っていました。兵庫県の但馬地方の蛇紋岩地帯で群落を見ましたが、それ以外の地層でも結構咲いています。例えば、蒜山地区では新庄村への閉鎖された道路沿いに群落が点在していますし、大山の北斜面にも群落が見られます。

# カタクリ



四国のカタクリを見るのには遠征が必要でしたが、こちらでは駐車場近くのカタクリの里がアチコチにあり、自生地も多くあります。蒜山地区では中蒜山の山頂付近の群落が有名でした。しかし、新日本百名山に選定されて、登山客が増え過ぎ群生地が踏み荒らされてしまいました。蒜山地区の南にある毛無山のカタクリは健在です。此処のブナに抱かれた写真です。

# カリガネソウ



図鑑には四国を始め全国的に生育していると記載されていますが、初めて見た所は摂津の国の里山でした。一度見たら忘れない形をした花です。発芽率は非常に良好で、植木鉢から敷地内に移した苗は元気に定着しています。難点は臭い、しかし、虫たちには良い匂いなのではないでしょうか？



## ユウスゲ(キスゲ)



夕方に咲き、昼前に萎むことからユウスゲと名付けられたが、何故か、キスゲの名が気に入っています。蒜山では谷間の湿地帯を好む植物です。

高額で取引されるカミキリムシの餌であることから、捕虫網を持った人物がウロチョロしていましたが、大きな看板が立てられた結果、虫採りの人は見かけなくなりましたが、花目当ての人が多くなりました。

# サギソウ



蒜山地区では今でも自生地があります。湿地の保全がボランティアの人々により行われていますが、乾燥化・他の植物の侵入・盗人などの影響が出てきています。

# ザゼンソウ



図鑑には生育地は「湿地」と記載されていますが、意外に強く、湿地から離れた場所まで進出しています。蒜山から直線的には近いのですが、大きく廻り込む岡山森林植物園での写真です。

## サンカヨウ



鏡ヶ成・大山の北斜面で自生しています。蒜山高原では、植栽か自生か判然としないが南側の山の麓に有ると教えてもらいました。何れも、小さな群です。大規模な群落は兵庫・鳥取県境の氷ノ山が有名です。写真写りには大きな差がありましたので、ここでは、鳥取産の写真を展示します。

## ダイセンキスミレ



長らく憧れていた、大山の名前が付いたスミレですが、初めて教えて貰った所は、お寺の石灯笼の石組みの隙間！ 大山の山頂付近まで登らなくても見る事は出来ますが、有難味は無いですね！ 鏡ヶ成・蒜山にも自生しています。

# トキソウ



蒜山の湿地で密かに咲いています。サギソウと同じ所ですので、トキソウも受難が続いています。

# ナベナ



蒜山に在る鳥取大学の演習林（最近はカタカナになっています。入口で許可を得ると入れます）を縦断したときに道端で見つけました。棘の有る茎に抱きついていますが痛くないのでしょうかね？

# ヒトリシズカ



高知でも良く見かけた植物です。大山博労座近くのお墓の付近に点在していた群落の写真です。高野山の町石道（全長180町）にもありました。静御前ではなく、何故か心を引かれる花です。見た場所の影響でしょうか。



## アカモノ



四国では西赤石山の西側の銅山越付近で群生を見ました。蒜山では、昔軍馬の放牧場の境界に土塀を築きました。この土塀に沿ってアカモノが生えています。銅山越えと同じ様に植栽の可能性が大きい植物です。

# アマドコロ



蒜山では野焼された草原のやや湿り気のある場所に多い植物です。  
ワラビ採りの場所・季節に生えますので、比較的に見付け易い花です。

## イワカガミ



蒜山・鏡ヶ成・大山で見かける見栄えの良い植物です。登山道の路傍に咲いているので見かける事が多い植物です。

# エンレイソウ



三嶺の光石登山口近くなどで見かけました。蒜山地区でも川沿いなど湿り気の有る所で普通に見られる植物ですが、漢字の延齢草に惹かれるのかな？ ナンテ云うとトシだな！ と言われそう。

# オタカラコウ



川岸・湿地帯など湿り気の有る所で咲いています。黄色い大柄な花なので花期には良く目立ちますが、写真を撮るには長靴が必要な植物です。

# オミナエシ



蒜山の丘陵部でよく見かける花です。特に、鏡ヶ成には大きな群落があり、湿原の栈道から見事な景観が見られます。

## キクザキイチゲ



北方系の植物で、湿り気の有る所に生えています。岡山では北部に多く自生している。花の色は白っぽい物から青い物まで有ると記載されていますが、多くは白色です。青い花を見たのは岡山森林植物園のみです。

## キツネノカミソリ



高知では三嶺などで見ましたが、何れも林縁のやや日陰でした。蒜山では田圃の脇の日当りの良い所でも群生が見られます。



## キバナアキギリ



木陰の水際で咲く黄色い花なので、良く目立ち見付け易い花です。何故か惹かれる花の一つです。

## ?コバギボウシ?



ワラビ採りの頃、谷川の水際にオオバギボウシが蕾を付け出しているのを良く見かけますが、花の頃には藪漕ぎが必要です。コバギボウシは谷から少し離れた所で見かける事が多く、容易に近づけます。敷地内の日陰に10本ほどの群が毎年花を咲かせています。

## コオニユリ



高知では物部川の河川敷に群生していますね。草原でもよく目立つ花です。草刈の回数が多いとスグに消えます。隣の草地に群落がありました。今年ヤケに草刈をされたので残念ながら消えました。

# シシウド



渓流魚釣りに凝っていた頃、シシウドを見ると山に入ってきたな！との感慨を持った懐かしい花です。よく見ると何処にでもある花ですが、何故か写真を撮りたくなる花の一つです。

# セリバオウレン



高知では嘯喜ヶ峰で群生地を教えて貰い、通いました。有名な薬草の一つで、アチコチで栽培されています。蒜山では山野草の愛好家にヤット教えて貰い見に行きました。嘯喜ヶ峰と同じく杉林のなかでヒっそりと咲いていた写真です。

## ミツバアケビ



蒜山では秋に熟したアケビの実が多く残っています。アケビが多いのと、採る人が少ないからでしょうか。アケビは子供の頃から良く知っている植物のつもりでしたが、ミツバとイツツバの花の差、雄花と雌花の差に驚かされた花です。

# オカトラノオ



山野や路傍に極普通に見られる花です。花穂の先が垂れ下がる形からトラノオと名付けられたとのコトですが、感性の違いか虎の尾に見えた経験は有りません。

写真展「蒜山近傍の花たち」より

河津哲

2009年10月